

特定非営利活動法人(NPO法人)の「アンガーシユマン・よすか」(小柳良代表)が今月、設立一周年を迎えた。横須賀市上町の上町商盛会商店街で空き店舗を利用し、不登校や引きこもりの子供、若者の支援施設を運営。メンバーは支援の輪をさらに広げようと意欲を見せている。(石曾根 剛)

不登校の子ら支援のNPO法人1周年

横須賀

「居場所」づくり  
広がる活動の輪

一年間で利用者は延べ約三千五百人。施設を自分の「居場所」として、自由に使い、心を安らいでいる。小柳代表は「た

くさんの人の支援のおかげで一年間頑張ることができた」と笑顔で語る。さらに、「活動を推進するため、一番大切なのは物ではなく、人の心のこもったサポート。不登校や引きこもりに対する市民の理解を深め、一人でも多く支援の輪を広げたい」と話していた。

アンガーシユマンは二〇〇四年四月から、施設を運営している。上町商盛会商店街振興組合(宮原茂理事長)が空き店舗を借り上げ、アンガーシユマンと連携。支援施設では、心のケアをするフリースペース事業や学習サポート事業などを行っている。

同年十一月から、支援施設に集う引きこもりの若者らの社会参加のきっかけになればと、買い物代行や家事手伝いのサービスも始めた。



1年間の活動を振り返る小柳代表

横須賀市上町